

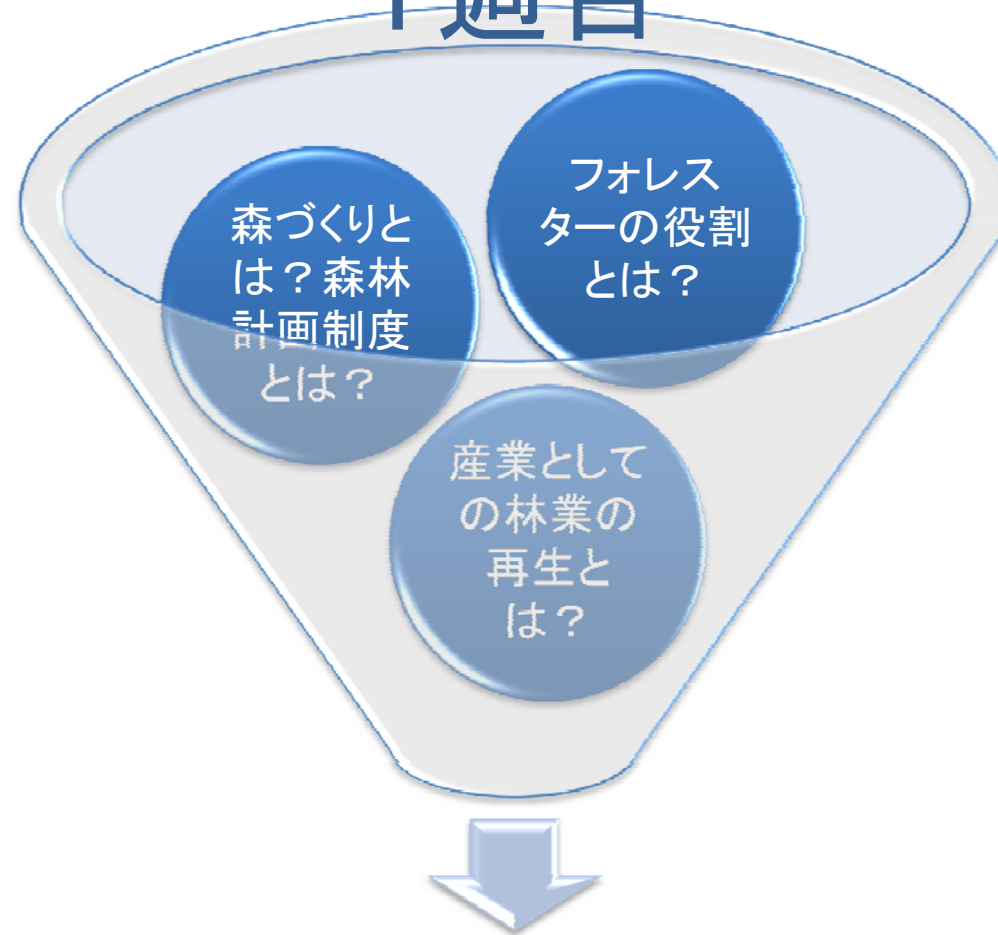
フォレスターの役割の再確認と研修Ⅱの 全体像

平成24年度 准フォレスター研修

近畿中国ブロック

1週目から2週目へ

1週目



2週目:ビジョンを立てて、計画に反映する

准フォレスター研修の概要

研修 I		8:30	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1日目							開講式、オリエンテーション(30分)	森林・林業再生プランの概要/フォレスターの役割、プランナーとの連携(90分)	森づくりの構想(90分)		ふり返り
2日目	日程説明等		地域の森林・林業の将来ビジョンと市町村森林整備計画(90分)	森づくりと森林経営計画(90分)	昼食		間伐実行監理演習(路網・作業システムの講義)(90分)	間伐実行監理演習(森林作業道の講義と演習)(120分)			
3日目	日程説明等		(現地)				森づくりの構想実習(旧森林施業検討会、間伐実行監理実習(森林作業道整備の検討)(+外部講師の助言)				
4日目	日程説明等	コミュニケーションとプレゼンテーション(ワークショップ)(60分)	木材の流通・販売(外部講師)(120分)	昼食			林業労働安全(リスクアセスメント)(外部講師)(60分)	間伐実行監理演習(流通・販売、集約化施業の講義)(150分)			ふり返り
5日目	日程説明等	間伐実行監理演習(発表、ディスカッション)(180分)		昼食		次回事前準備説明(30分)	ふり返り(30分)	次回に向けたひとこと(40分)			
研修 II		8:30	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1日目							研修 I との関係、フォレスターの役割の確認等(30分)	森林資源循環利用構想策定演習(ゾーニング、林業専用道の検討)(150分)			ふり返り
2日目	日程説明等		(現地)				森林資源循環利用構想策定実習(地形、地質、林況、既存の路網等現地条件の確認)				
3日目	日程説明等	森林資源循環利用構想策定演習(発表準備、発表、ディスカッション)(180分)		昼食			市町村森林整備計画演習(演習説明、班内共有、計画策定、発表準備)(+外部講師)(210分)				
4日目	日程説明等	市町村森林整備計画演習(発表、ディスカッション)(+外部講師)(180分)		昼食		研修全体の振り返り(50分)	目指すフォレスター像(意見交換・発表)(50分)	閉講式			

(1) 技術力

① 森づくりの構想

→ 森林現況から、機能・目標林型・施業を検討。
循環的木材生産の適否を判断

② 間伐実行監理

→ 路網、作業システム、労働安全、木材の流通・販売、集約化などの観点から事業地・事業体レベルで産業としての林業を検討

(2) 構想力

① 森林資源循環利用構想

→ 森林整備の年次計画や林業専用道の配置など長期的・広域的な観点から地域の森林・林業の再生を検討

② 市町村森林整備計画演習

→ ゾーニング、特に木材生産の対象とする人工林の見極め(⇔木材生産機能維持増進森林のゾーニング)、優先順位の検討(⇔路網整備等推進区域の設定)

日本型フォレスターとは？

- 広域的、長期的な視野を持って地域の森林経営のビジョンを描き、
- 中立的な立場で地域の関係者を指導する、地域の森林・林業の牽引者。

何ができる？

地域のために
地域の人達と
地域の山づくり

だから
フォレスターは
おもしろい。

方向と構想の共有

・地域の森林・林業の将来の姿について、市町村、森林所有者、林業・林産業関係者、住民と一緒に考え、合意形成

森林整備計画の策定支援

・共有した将来の姿を実現するためのプロセスを市町村森林整備計画に表現
＝「実質的に」策定
(市町村長にアドバイス)

森林整備計画を執行

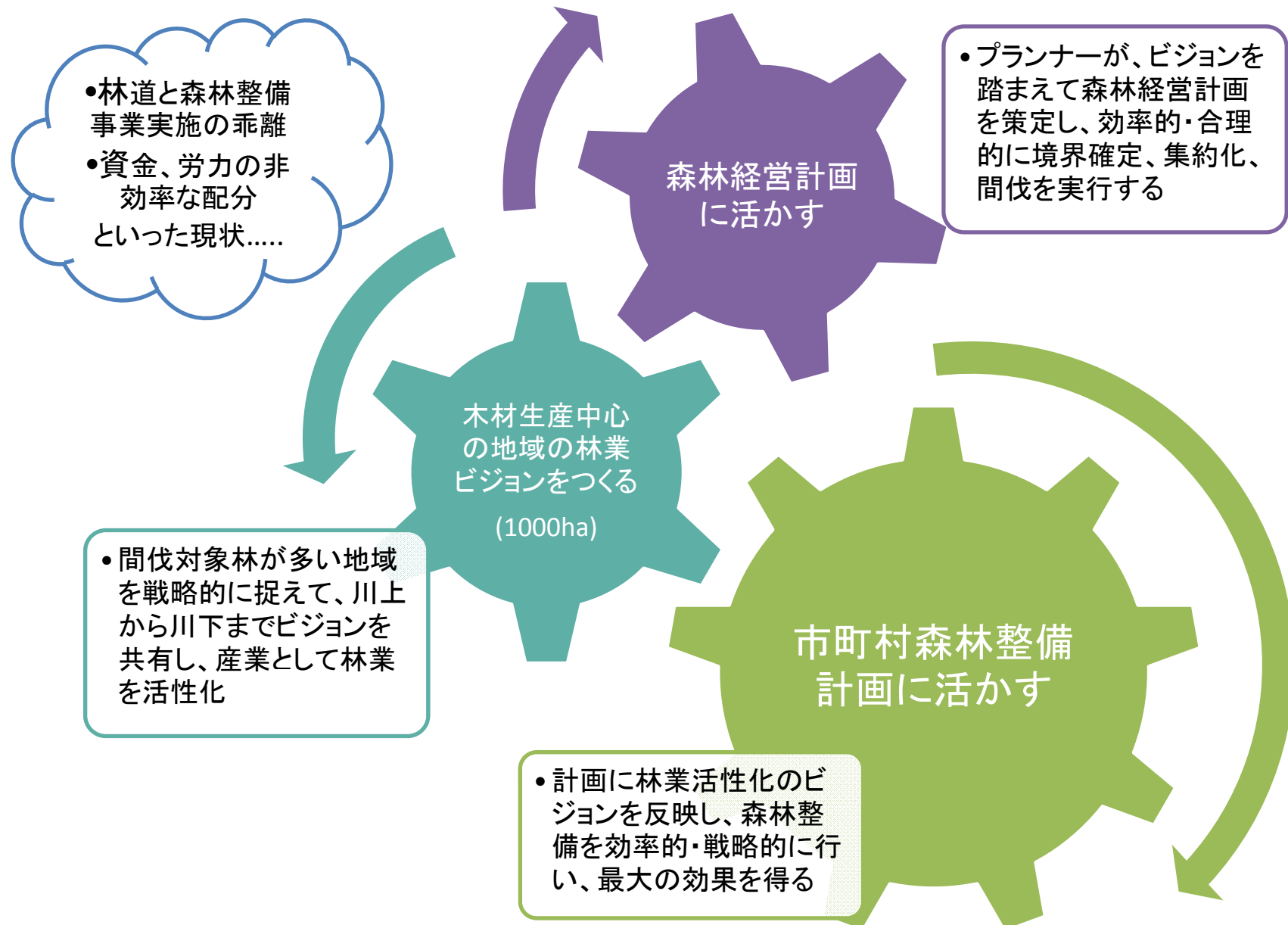
・プランナーに集約化、施業、作業システム、森林経営計画についてアドバイス
・首長に路網整備を働きかけ
・素材生産業者に計画を基に機械更新をアドバイス
・製材工場に設備更新をアドバイス
・近隣のフォレスターと組んで都道府県に説明・要請
・市民団体と森林をレクリエーションに活用
etc.....

地域の森林・林業の再生

《多様な視点からの多面的機能の持続的発揮》

・長期的・広域的なビジョンの作成・共有
・水源涵養等の公益的機能の発揮
・循環的な森林資源の活用
整備された路網
・低コストで競争力のある素材生産
・安全で安定した雇用
・補助金なしで黒字！
・競争力のある木材加工業
・豊かな森林環境の一般市民による享受
etc.....

1,000haのビジョンが地域の森林・林業を動かす



(確認) フォレスターの視点のまとめ

- 再生プランの趣旨(=森づくりの目的):
 - 森林の有する多面的機能の持続的な発揮
- 森づくりの基本的な考え方:
 - 4原則(合自然性, 経済性, 保続性, 生物多様性保全)
- 森づくりの構想:
 - 配置の目標林型(ゾーニング)、林分の目標林型
- 施業方法:
 - 伐採方法、伐期、更新方法、間伐(密度管理) etc...
- 地域の森林・林業の構想(=市町村計画):
 - ゾーニング、路網、図示化
- フォレスターの役割:
 - 「構想作成」(長期的・広域的な視点)、「合意形成」(公平・公正・中立な立場)、「構想実現」(具体的取組) → 市町村支援